

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に対するオラパリブ維持療法の安全性と有効性の検討

### 研究の目的

2018年1月、poly (ADP-ribose) polymerase(PARP)阻害薬のひとつであるオラパリブが、白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法として承認されました。またBRCA 遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法としても使用可能となりました。今回当院におけるオラパリブ使用症例の安全性、有効性、有害事象について確認し、日本人患者を対象とした治療実態を明らかにすることを目的としています。

**研究実施期間：** 2022年5月20日～2024年3月31日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 2018年4月からオラパリブを使用した卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の患者さん

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、病歴、家族歴、採血検査結果、画像検査結果、病理組織学検査結果、手術・化学療法・放射線療法を含む治療歴、有害情報、疾患に起因する症状、生存情報について標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 産科婦人科 氏名：松村由紀子  
Tel：0172-39-5107 E-mail：y-matsu@hirosaki-u.ac.jp